

熊本県立天草青年の家 指定管理者 令和2年度(2020年度)  
管理運営評価票

所管部課: 教育庁市町村教育局社会教育課

施設の管理概要

指定管理者名	ひとづくりJAPANネットワーク・三勢共同体
指定期間	平成29年4月1日から令和4年3月31日まで
施設概要	<p>所在：上天草市松島町合津5500番地</p> <p>施設：本館、講堂、宿泊棟、体育館、屋根付き運動場、キャンプ場等</p> <p>目的：本施設は、健全な青少年の育成と県民の生涯学習の振興を目的として設置された県立の青少年教育施設である。宿泊施設及び各種の体験活動のための施設・設備を活用して、利用団体による自主的な研修利用のほかに、自然や季節の特徴を活かした教育的プログラムとして企画事業を実施している。自然の中での体験活動が中心であるため、特に利用者の安全確保に留意して運営している。</p>
指定管理料	319,799,000円（4施設（天草青年の家、菊池少年自然の家、豊野少年自然の家、あしきた青少年の家）を一括で委託、利用料金制）

管理運営の評価

1 管理業務の水準の評価

管理業務の水準を表す指標	目標値	実績値	備考
研修者延べ数	22,986人	6,243人	前年度実績 39,095人
研修活動中の事故の有無	0件	0件	軽傷を除く

【点検・調査結果及び評価】

新型コロナウイルスの影響で4月から6月まで休館、大規模改修工事の影響で11月から3月まで休館した。開館期間中も受入数を定員の概ね半数を目安とした影響で、研修者延べ数は大きく減少したが、やむを得ないものと認められる。

県では、特に施設における利用者の安全確保を重視し、指定管理者への指導を徹底しており、期間中の事故発生は0であった点については評価できる。

## 2 管理業務実施状況

### 施設維持管理業務実績

作業項目	業務内容	実施回数	備考
清掃	所内清掃	通年	
保安・警備	宿直業務	通年	
	ボイラー運転監視	通年	
保守点検	電気設備保守点検	年12回	専門業者に委託
	エレベーター設備点検	年12回	同上
	消防設備保守点検	年2回	同上
	地下タンク保守点検	年1回	同上
	ボイラー保守点検	年2回	同上
	監視カメラ保守点検	月1回	同上
	空気環境測定	年5回	
	害虫駆除	年2回	専門業者に委託
	高架水槽清掃	年1回	同上
	簡易専用水道検査	年1回	同上
	水質検査(残留塩素)	週1回	
	浄化槽保守点検	年24回	専門業者に委託
	浄化槽清掃	年2回	同上
	浄化槽法定検査	年1回	同上
	し尿汲み取り	年1回	同上
吸収式冷温水器点検	年3回	同上	
建築設備定期点検	年1回		
【点検・調査結果及び評価】			
施設設備の清掃、保安・警備および点検等については仕様書どおりに実施されている。頻度・内容ともに水準を満たしており、良好に管理されている。			

### 運営事業実績

#### 〔主な事業・イベント〕

事業・イベント名	開催時期	参加者数	趣旨・内容
ハクセンシオマネキの観察会	8/8,22	20人	雲仙天草国立公園である上天草市の永浦島において、美しい景色を眺めながら、海の生物を観察し、自然とのふれあいを楽しむとともに、自然の雄大さや大切さを学ぶ。
あませい楽校(全8回)	8~3月	119人	地域の子ども達に年間をとおして、体験活動の機会を設け、地域の魅力に気づき、地域を誇りに思う子供たちを育成する。さらには、各活動をとおして天草の将来を担う子供を育成する。
明日にきらめけ!チャレンジ元気ッズ!	9/12~13	20人	子ども達に、自然体験活動をとおして、外遊びの楽しさについて理解を深めてもらう。また、子どもたちの創造力やコミュニケーション能力を高め、たくましく生きる力を育成する。

第10回あませいトレイルラン大会	1/16	58人	天草青年の家周辺の自然に親しみながら、千元の森や、千歳山を爽快に駆け抜け、トレイルランの醍醐味を味わってもらおう。また、県民の生涯学習スポーツの推進を図る。
集え！あませい登山部	3/14	22人	様々な体験活動をとって仲間と協力する大切さを学ぶとともに、何事にも積極的にチャレンジする心を育てる。

**【点検・調査結果及び評価】**

新型コロナウイルスの影響で、当初予定していた、例年利用者からの評価が高い電車を利用する事業や、教育効果の高い施設に宿泊しながら学校へ通学する事業の実施ができなかった。

しかしながら、地域の自然等の特色を活かしたプログラムを実施した他、家庭で過ごす時間が多くなる中、自然体験活動の機会を提供できたことは評価できる。

### 3 利用状況

施設名	年計	年計	前年度計	前年度比
本館	開館日数	298日	326日	91.4%
	宿泊可能日数	137日	223日	61.4%
	利用日数	121日	259日	46.7%
	利用率	40.6%	79.4%	51.1%
	利用者実数	3,048人	14,098人	21.6%
	利用者延べ数	3,948人	29,086人	13.6%
キャンプ場	開館日数	298日	326日	91.4%
	宿泊可能日数	137日	320日	42.8%
	利用日数	0日	22日	0.0%
	利用率	0.0%	6.7%	0.0%
	利用者実数	0人	229人	0.0%
	利用者延べ数	0人	759人	0.0%
出前講座等	利用者実数	1,178人	9,250人	12.7%

**【点検・調査結果及び評価】**

新型コロナウイルスによる受入れ制限や、大規模改修工事の影響で休館していたことが影響し、利用者延べ数が減少した他、新型コロナウイルスの影響で出前講座の利用者も減少することとなったが、やむを得ないものと思われる。施設の休所や制限付きでの運営等、県と連携の上、適切に対処を行った。

#### 4 管理経費の収支状況

収入			
項目		内訳	金額(円)
利用料金収入	本館	一般112人、高校生以下721人、就学前の者57人	264,740
	キャンプ場	一般0人、高校生以下0人、就学前の者0人	0
	宿泊を伴わない利用	一般1,325人、高校生以下651人、就学前の者209人	165,050
指定管理料		指定管理者による本施設への振り分け (うち、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う指定管理料の事業継続支援分)	81,158,000 (3,405,000)
企画事業等収入		6事業	227,650
その他活動収入		出前講座28団体	120,700
プログラム活動料金			82,800
食事代			1,746,580
シーツ等クリーニング代			107,100
雑収入			503,929
合計			84,376,549
		収入未済額	0
		うち利用料金収入分	

支出			
項目		内訳	金額(円)
人件費			57,157,568
運営管理費		旅費、管理費、活動プログラム費等	3,054,593
維持管理費		光熱水費、業務委託費、施設修繕費	21,873,237
企画事業費			218,550
合計			82,303,948

#### 【点検・調査結果及び評価】

利用料金収入については適正に収納され、指定管理料と併せて施設管理運営に必要な経費に適切に使用されている。新型コロナウイルスの影響で収入が減少する中、維持管理費等の削減取組により、支出の抑制につなげた。今後は予防保全の視点も踏まえた施設管理に取り組んでほしい。

## 5 利用者調査結果

調査実施 内容	調査年月日	令和2年6月1日～令和3年3月31日											
	調査方法	全ての利用者団体にアンケート調査を実施											
	調査対象数	159 団体											
調査結果	調査分野	回答内容											
		非常によい		よい		普通		あまりよくない		悪い		無回答	
		人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
	集団生活を学ぶ場	140	88.1	17	10.7	2	1.3	0	0	0	0	0	0
	活動内容	75	47.2	10	6.3	2	1.3	0	0	0	0	72	45.3
	職員の受入れ対応	149	93.7	6	3.8	2	1.3	0	0	0	0	2	1.3
	職員の指導・助言	100	62.9	9	5.7	2	1.3	0	0	0	0	48	30.2
	食堂スタッフの対応	20	12.6	2	1.3	3	1.9	0	0	0	0	134	84.3
	食事の質	17	10.7	6	3.8	2	1.3	0	0	0	0	134	84.3
	食事の量	15	9.4	9	5.7	1	0.6	0	0	0	0	134	84.3
	屋内の施設・環境	95	59.7	14	8.8	3	1.9	0	0	0	0	47	29.6
	屋外の施設・環境	82	51.6	14	8.8	1	0.6	0	0	0	0	62	39.0
	また利用したいか	ぜひ				機会があれば				利用しない		無回答	
		146	91.8			12	7.5			0	0	1	0.6
利用者からの意見等	特になし												
【点検・調査結果及び評価】													
<p>新型コロナウイルスの影響で、例年に比べ日帰り利用の団体が多く、食事に関する項目は無回答の割合が増えることとなった。新型コロナウイルス対応で、通常時に比べると業務が増えるとともに満足に活動することができないこともあったが、施設をまた利用したいかの質問項目では、ぜひ利用したいと回答した割合が前年度の86.6%から91.8%に上昇した点は評価できる。</p>													

## 6 意見・苦情等の対応

利用者からの意見・苦情等	改善状況
特記事項なし	
【点検・調査結果及び評価】	

## 7 昨年度の評価で、改善を指摘された事項に対する対応

指摘事項	改善内容・結果
出前講座やキャンプ場の利用者獲得に向けた継続的な対策や広報活動に取り組むこと。	今年度は新型コロナウイルスの影響で実施できなかったが、PTA総会等を活用した直接の広報や、キャンプ場を利用した企画事業の開発を

	行われていくこととなった。
屋内外の環境整備を促進すること。	施設内外をエリアごとに分け、各エリアの責任者を置く等の工夫をし、環境整備が進んだ。
利用者アンケートや活動中の利用者の声などから利用者のニーズを汲み取り、サービスレベルの向上を図ること。	事前相談で団体のニーズを詳細に把握したうえで、プログラムの提案や助言について職員間で認識を共有し、利用者対応に当たった。
<p><b>【点検・調査結果及び評価】</b></p> <p>新型コロナウイルスの影響で、直接出向いての広報が制限された他、キャンプ場利用に当たっては、多人数での調理を制限する等の制限があったため、実施が難しかった点はやむを得ないと思われる。体験活動の重要性を利用者に理解してもらうことで利用者の獲得に繋げていきたい。</p>	

## 8 その他

特になし
------